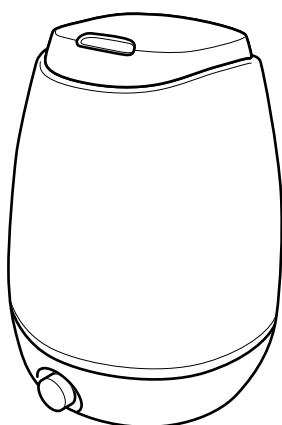


LED 加湿器

SRD-702



取扱説明書 保証書つき

このたびはsiroca LED加湿器SRD-702をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

| | |
|----------------------|----|
| 安全上のご注意 | 2 |
| 仕様 | 3 |
| 知っておいていただきたいこと | 4 |
| 各部のなまえ | 6 |
| 使いかた | 7 |
| お手入れ | 9 |
| 消耗品 | 9 |
| 故障かなと思ったら | 10 |
| アフターサービス | 11 |
| お客様相談窓口 | 11 |
| 保証書 | 12 |

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。

警告



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない

発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや介護の必要な方だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない

感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電・故障の原因になります。



禁止

お手入れをするときは、絶対に塩素系・酸性タイプ・酵素タイプの洗剤を使わない

有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。必ず中性洗剤をお使いください。



禁止

吹き出し口や本体の隙間にピン・針金などを入れない

感電・けが・故障の原因になります。



禁止

ミストを噴霧・拡散する目的以外で使わない

医療用吸入器ではありませんので、ミストを故意に吸引しないでください。健康を害する原因になります。



禁止

給水時、直接本体に水を入れない

必ず水タンクに水を入れてください。送風口などに水が入り、ショート・感電・故障の原因になります。



水を給水するときは、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜く

感電・ショート・けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・水がもれる

など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



ミスト量調節つまみの位置がOFFになっていることを確認してから、電源プラグを抜き差しする

けがの原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

感電・けがの原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いておくことを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取りつけ面に付着したほこりは拭き取る

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。

設置に関する注意事項



不安定な場所では使わない

転倒により水がもれて、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。また、けが・故障の原因にもなります。以下のような物の上では使わないでください。

※カーペット、ふとん、棚、ベッドテーブル など



ミストが物(家具・壁・カーテン・天井・電気製品など)に直接あたる場所に設置しない

ミストがあたった物に、変形、変色、シミ、故障などの恐れがあります。また、電気製品、時計、パソコンなどの精密機器にミストが当たることで、ショート・故障・誤作動の原因になります。



水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。



犬や猫などのペットの近くでは使わない

ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災の原因になります。



テレビやラジオなどの電気製品や精密機器の近くでは使わない

製品が発する電磁波により、テレビ画面のちらつき・雑音などが生じる場合があります。



ストーブやガスコンロなど熱源・火気のそばでは使わない

変形・故障の原因になります。



湿度の高い場所で運転したり、加湿しすぎたりしない

室内が多湿になり、結露・カビや雑菌の繁殖・故障の原因になります。



屋外で使わない

ほこりや虫などの混入・故障の原因になります。



注意

使用上の注意事項



運転中に本体を移動しない

転倒により水がもれて、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。また、けが・故障の原因にもなります。



本体を運ぶときは、必ず本体を両手で持つ

本体と水タンクは固定されていません。水タンクの取っ手を持たないでください。



水タンクをはずしたまま運転したり、運転中に水タンクをはずしたりしない

水が噴出して、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。



必ず常温の水道水(飲用)を使う

ミネラルウォーター・アルカリイオン水・浄水器の水・井戸水などは絶対に使わないでください。水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。お湯は変形・誤作動の原因になります。水道水(飲用)は、抗菌処理がされているため、雑菌が繁殖しにくくなっています。



吹き出し口をふさがない

故障の原因になります。



水タンクは定期的にお手入れをして、常に清潔な状態で使う

水タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。お手入れをせずにお使いになると、水アカやミネラル分が付着して、性能が低下する原因になります。また、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発したり、健康を害する原因にもなります。



超音波振動板に直接手を触れない

故障の原因になります。



アロマオイルは、アロマオイル製品の使用上の注意に従い、添加量に注意して使う

合成香料は使用せず、アロマオイル(天然抽出成分100%)のみを使用してください。また、多量のアロマオイルを入れないでください。



本体に寄りかかったり、腰かけたりしない

転倒により水がもれて、周辺の機器や内装品に損害を及ぼす原因になります。また、けが・故障の原因にもなります。



水タンクや本体内部にアロマオイルを入れない

故障の原因になります。

仕様

| | |
|--------|------------------------|
| 品名(型番) | LED加湿器(SRD-702) |
| サイズ(約) | 幅22 cm×奥行22 cm×高さ31 cm |
| 電圧 | 交流100 V |
| 周波数 | 50/60 Hz |
| 消費電力 | 25 W |
| 重量(約) | 1.6 kg (満水時: 5.6 kg) |
| 容量(約) | 4 L |

| | |
|-----------|---|
| 加湿量(約) | 1時間当たり最大300 ml |
| 連続使用時間(約) | 12時間(※使用状況、環境により異なります) |
| 適用床面積(目安) | 木造和室: 8 m ² (5畳) プレハブ洋室: 14 m ² (8畳) |
| 加湿方式 | 超音波振動加湿方式 |
| コード長(約) | 1.5 m |
| 生産国 | 中国 |



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

知っておいていただきたいこと

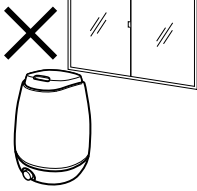
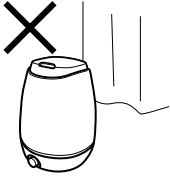
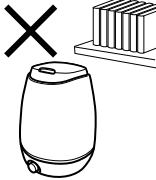
本製品は超音波振動により、水を細かな霧状にして噴霧する加湿器です。

- 細かな霧状のミストを噴出します。
スチーム式とは異なり、熱い蒸気が出ないので安心です。
- 長時間運転すると、過加湿により水滴が床につく場合があります。
お部屋の湿度に合わせて設定してください。床面のシミ・変色の原因になります。
- お手入れをせずにお使いになると、水の成分(ミネラル分)が付着し、雑菌が繁殖します。
お部屋が結露したり乾燥すると、水中のミネラル分(白い粉など)が析出しますが、人体に影響はありません。
- 長時間、加湿しすぎないように注意してください。
室内が多湿になり、結露やカビ・雑菌の繁殖、故障の原因になります。

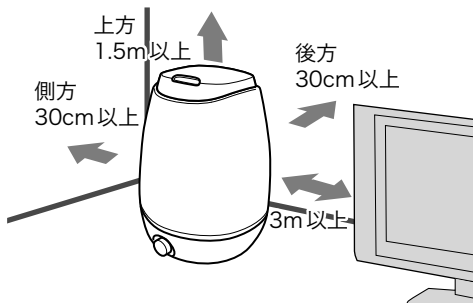


※ 長時間同じ場所で使用すると、白い粉が付着したり
材質・塗料によっては変形や、変色する(シミなどが残る)場合があります。

次のような場所には設置しない

- 風通しの良い場所に設置して、窓や冷たい壁からできるだけ離してください。
窓や冷たい壁にミストがかかると、水滴が付き、カビなどが発生する原因になります。
必ず風通しの良い場所に設置してください。
- ミストが物(家具・壁・カーテン・天井・電気製品など)に直接あたる場所に設置しないでください。
ミストがあたった物に、変形、変色、シミ、故障などの恐れがあります。また、電気製品、時計、パソコンなどの精密機器にミストが当たることで、ショート・故障・誤作動の原因になります。
- 落下物の恐れがある場所に設置しないでください。
物を載せた棚などの下に設置して使用しないでください。落下物が本体にあたり、事故や故障の原因になります。
- 次の場所では、使用しないでください。
 - ・磁気の多いところ(故障の原因になります。)
 - ・空調機やエアコンの風が当たる場所など(長時間同じ場所で使用すると、白い粉が付着したり、変形・変色する原因になります。)
 - ・直射日光が当たるところ(変形や変色の原因になります。)
 - ・暖房器具の近く(1m以内)など高温になる場所(石油・ガス・電気ストーブの近くや、電気カーペットの上など)(変形や変色の原因になります。)
- 不安定な場所(傾斜のある場所や、凹凸のある場所など)には設置しないでください。
本体が傾くと、水位感知センサーが働き、自動的に運転が停止します。
- 本体底面の吸気口をふさがれる物(毛足の長いじゅうたん・電気カーペット・ふとんなど)の上に設置しないでください。
吸気口がふさがれると、ミストの出が悪くなったり、本体内部の温度が上昇して、故障や誤作動などの原因になります。

設置場所の目安



※ 左図の寸法を参考に、本体周囲との距離を十分にとってください。

※ テレビなどのAV機器や、パソコン機器からは、3m以上離して設置し、別のコンセントを使用してください。映像や音声の乱れの原因になります。

使用時におこる現象 ※これらの現象は故障ではありません

床・壁の濡れ

- 湿度が70%以上のときはすでにお部屋は充分加湿されており、さらに加湿しようとする、床や壁、家具などが湿ってくる場合があります。湿度計を併用し、お部屋の湿度が高い場合は運転を停止するか、加湿量を弱めに設定してください。
- 加湿器周辺の床濡れは、外気温が低い場合にミストが気化していないことが原因の一つです。お部屋の中を暖かい状態に保ち、加湿器を少し高い位置に設置してお使いください。

におい

- 住んでいる地域やマンションなどの水道水の水質によっては、若干においがする場合があります。
- お手入れをせずにお使いになると、カビや雑菌が繁殖して異臭を発生したり、健康を害する原因になります。異臭の発生を防ぐために、使用時は毎日必ずお手入れをしてください。

超音波振動板・本体内部の汚れ

- 本製品をお手入れをせずに使い続けていると、超音波振動板・本体内部に汚れや白い粉がたまります。お使いの水道水の中に、カルキやミネラル分、鉱物成分などが含まれるために発生しています。加湿性能の低下、故障の原因になりますので、こまめにお手入れをしてください。特に、超音波振動板・水位感知センサーはしっかりとお手入れをしてください。

白い粉

- 水道水に含まれるカルキやミネラル分、鉱物成分など、結晶として現れるものがミストとともに床面や周囲に付着することがあります。ミストが直接当たる場所に物を置くのを避けて、付着した場合はこまめに拭き取ってください。

ガスコンロの火の色

- 水道水には消毒のためのカルキやミネラル分、鉱物成分などが含まれており、空気中で火と接触すると炎色反応が起こり、コンロの火が赤くなることがあります。有害な物質、不完全燃焼によるものではなく、人体に悪い影響はありません。

知っておいていただきたいこと

効果的にお使いいただくために

効果的な設置場所

- ダイニングテーブルなどの高さで設置すると、ミストが空気中で気化しやすく、均等にお部屋を加湿できます。置く場所が低すぎると、気化するまでにミストは落下してしまい、床が湿ってしまう場合があります。

お部屋の湿度観察

- 快適なお部屋の湿度は45%～60%（※建築物衛生法で定められた適正な湿度：40%以上70%以下であること）と言われています。過剰加湿や加湿不足を防ぐため、湿度計を併用することをおすすめします。
- お部屋の湿度が70%を超えると、窓などに結露が起こり、雑菌、カビが繁殖しやすくなります。

使用上のお願い

水漏れに注意する

- 水タンクを床に落としたり、衝撃を与えると水タンク接合部に小さな亀裂が入り、水漏れが起きます。お取り扱い、お手入れ時には、充分注意してください。
- ご使用条件により、水漏れが起こる場合があります。例）・水道水の温度が低いとき（厳冬時に注意）
・暖房器具の近くで使用するとき

アロマオイルについて

- アルマオイルには、プラスチックを溶解させる成分が含まれる場合があります。天然抽出物(100%)のみ使用してください。合成香料などは使用しないでください。本体に付着すると変色・変形・故障の原因になります。アロマオイルの説明書や注意書・成分表をよくお読みになってから使用してください。

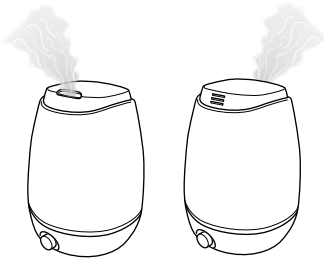
残留水は必ず捨てる

- 超音波振動板・本体内部に水を残しておくと、変色や悪臭、雑菌の繁殖の原因になります。加湿に使用する水は、使用時は毎日新しい「水道水」と入れ替えてください。

各部のなまえ

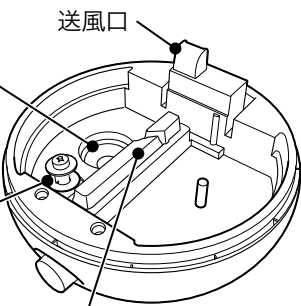
吹き出し口

吹き出し口は、前後の向きを変えて取り付けることで、ミストの噴出方向を変えられます。



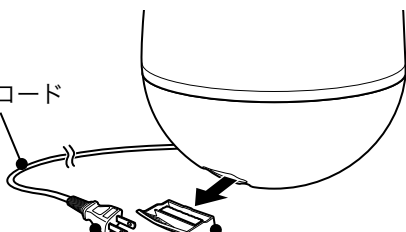
本体内部

送風口
超音波振動板
水位感知センサー
LEDライト



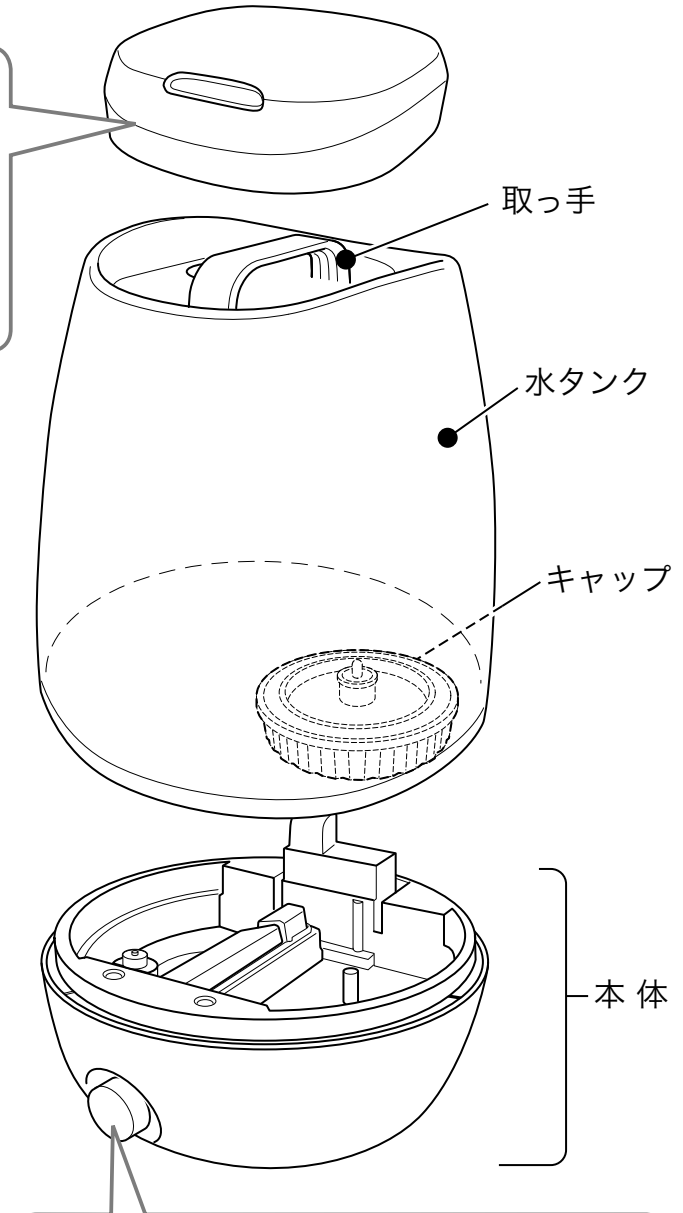
本体背面

電源コード
電源プラグ
アロマトレイ (アロマ専用スポンジ付属)

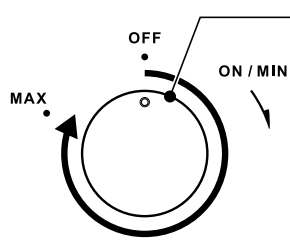


水位感知センサーの働き

水タンクの中の水が減って、水位感知センサーより低い水位になると、自動的に運転が停止するしくみになっています。また、本体を大きく動かしたり、傾けたりしても、運転が停止します。



ミスト量調節つまみ・LIGHTボタン



ミスト量調節つまみ
OFFからON/MINの位置まで回すと電源が入ります。ON/MINからMAXの位置まで時計回りに回すことで噴出するミスト量が多くなります。噴出するミストの量は無段階で調節できます。



LIGHT ボタン
押すたびにLEDライトの点灯が以下の順に切り替わります。

OFF → 点灯(弱) → 点灯(強)

| 使いかた

1 水タンクを本体から取りはずす

- ① 吹き出し口を取りはずす
- ② 取っ手を持ち、水タンクを本体から取りはずす



※ 動作後は取っ手に水滴がついて、すべりやすくなっています。取っ手を持ち上げる際はご注意ください。

2 給水する

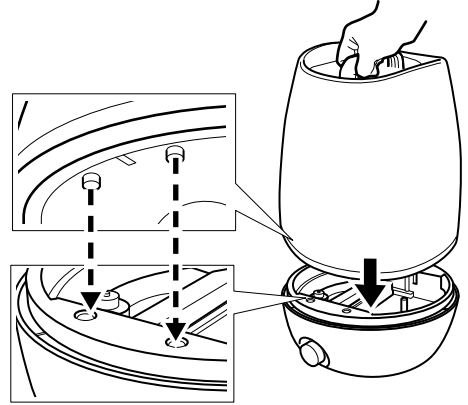
- ① 水タンクへの衝撃を抑えるために、やわらかい布などを敷いた台の上に置く
- ② 片方の手で水タンクをしっかりと支えながら水を入れる
- ③ 水タンクのキャップをしっかりと締める



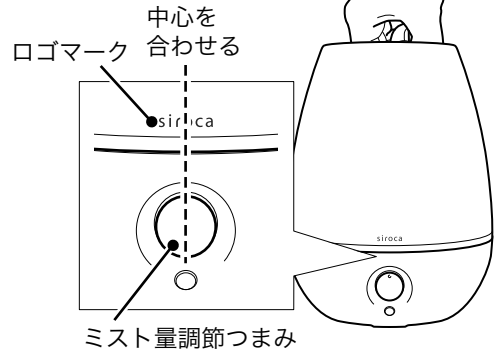
- ※ 水タンクは静かに置いてください。水タンクに衝撃を与えると、水タンクの接合部に小さな亀裂が入り、水漏れの原因になります。
- ※ キャップは確実に締めてください。締めつけが弱いと、水漏れによってお部屋を汚し、感電やショートの原因になります。
- ※ 給水口に直接蛇口を差し込んで、給水しないでください。給水口が破損して水漏れの原因になります。
- ※ 常温の水道水(飲用)を使用してください。

3 水タンクと吹き出し口を本体に取りつける

- ① 水タンク底部の穴と、本体のピンを合わせて取りつける



- ② ログマークとミスト量調節つまみの中心を合わせて、水タンクをしっかりとめ込む



- ③ 吹き出し口を取りつける

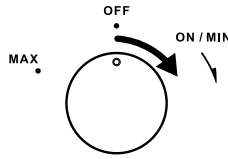


- ※ 水タンクと本体がしっかりとみ合うように差し込んでください。かみ合っていない場合、外れやすい、または動作しないことがあります。
- ※ 給水後は、水タンクが大変重くなりますので注意してください。
- ※ 水タンクの取り付け・取りはずしの際は、製品に付着した水が本体や周囲に飛びちらないよう注意してください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む

5 ミスト量調節つまみをON/MINの位置に“カチッ”となるまで時計回りに回す

- 電源が入り、ミスト量調節つまみの周りが点灯して、吹き出し口からミストが噴出します。



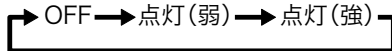
7 ミスト量調節つまみを回して、ミストの量を調節する

水が少なくなると・・・

ミスト量調節つまみの周りが赤く点滅して、断続運転に切り替わります。給水のサインのため、製品の不具合ではありません。
点滅が始まったら、必ずミスト量調節つまみをOFFの位置まで回して、電源プラグを抜いてから、再度水タンクに新しい水を入れてお使いください。
給水をせずに使い続けると、ミスト量調節つまみの周りが赤く点灯して、自動的に運転が停止します。

6 LIGHTボタンを押してLEDライトの点灯を切り替える

- LIGHTボタンを押すたびにLEDライトの点灯が以下の順に切り替わります



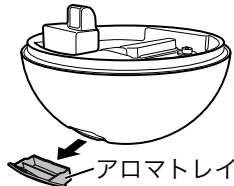
8 使い終わったら、ミスト量調節つまみをOFFの位置まで回して、電源プラグをコンセントから抜く

⇒ 残った水の捨てかたやお手入れのしかたについては、9ページのお手入れ」を参照してください。

アロマを使う

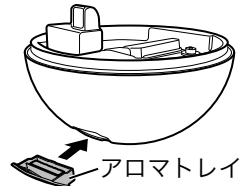
1 アロマトレイを取りはずす

- 接地面と水平にゆっくり引き出してください。

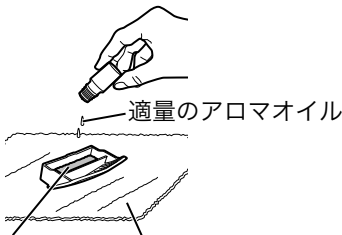


3 アロマトレイを本体に取りつける

- アロマオイルが本体に付着しないよう気をつけながら、ゆっくりと取りつけてください。



2 アロマ専用スポンジをアロマトレイに置き、アロマオイルを適量(1～2滴)染みこませる



アロマ専用スポンジ ビニールなど

- オイルがこぼれる場合にそなえて、あらかじめアロマトレイの下にビニールなどを敷いてからアロマオイルを滴下させてください。



- ※ 水タンクや本体内部にアロマオイルを入れないでください。故障の原因になります。
- ※ 本体やアロマトレイに直接アロマオイルが付着したときは、すぐに洗い流すか、きれいにふぎとってください。アロマオイルの成分によっては、本体やアロマトレイが割れ・変色・変形することがあります。
- ※ アロマトレイを取り出すときは、本体から水がこぼれないよう注意してください。
- ※ 本体を移動するときは、アロマトレイが外れて落ちないように注意してください。
- ※ 合成香料のアロマオイルは使用せず、天然抽出成分100%のアロマオイルのみを使用してください。
- ※ 本製品をお使いになる際、アロマオイルは使わなくても問題ありません。お好みでお使いください。
- ※ アロマ専用スポンジからアロマオイルが揮発することで香ります。ミストの中にアロマオイルは入りません。



※ アロマオイルを出しすぎないように、注意してください。

お手入れ

定期的にお手入れをして、常に清潔な状態でお使いください

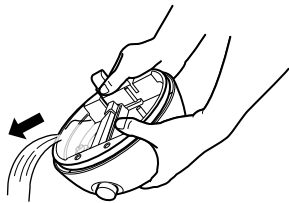


- ※ 必ず、コンセントから電源プラグを抜いてお手入れをしてください。
- ※ 絶対に塩素系・酸性タイプ・酵素タイプの洗剤は使わないでください。有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。
- ※ ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。傷・変質・変色の原因になります。

水の捨てかた

本体内部の送風口に水が入ったり、ミスト量調節つまみ・LIGHTボタンがぬれたりしないように、必ず送風口のない側から水を捨ててください。

- ※ 使用後、水タンクに残った水は必ず捨ててください。カビや雑菌が繁殖する原因になります。



本体外部・アロマトレイ

やわらかいふきんを少しぬらして、固くしぼって拭く

- 本体底面の吸気口にほこりなどがたまっているときは、掃除機などで取り除いてください。

アロマ専用スポンジ

アロマ専用スポンジは水洗いできません。香りを変える場合や、スポンジの汚れがひどい場合は新しいスポンジに交換してください。9ページの「消耗品」を参照し、お買い上げの販売店でお求めください。

本体内部・水タンク

水洗いをして、やわらかい布で拭く

- ※ 本体内部の送風口に水が入ったり、ミスト量調節つまみ・LIGHTボタンがぬれたりしないように注意してください。

- 本体内部の超音波振動板にカルキ分などの白い粉が付着した場合は、綿棒などで軽くこすって汚れを取り除いてください。汚れがひどい場合はクエン酸洗浄を行ってください。

- クエン酸洗浄のしかた

- ① 水1Lに対してクエン酸(約30g)をよく溶かし、水タンクに入れてキャップを締めます。
- ② 本体に水タンクを取りつけて、**運転せずに**1時間程度放置したあと、水タンクと本体内部のクエン酸水を捨てます。
- ③ 水タンクと本体内部は、水道水を2～3回入れかえて、しっかりとすすいでください。

- ※ クエン酸の成分が残るとにおいや故障の原因になります。

本体を持ち運ぶときは…

本体を移動するときは、必ず本体の下部を両手で持って移動してください。

- ※ 本体と水タンクは固定されていません。水タンクの取っ手を持たないでください。



消耗品

お買い上げの販売店でお買い求めください。

| 部品名 | 部品コード |
|-----------|-----------|
| アロマ専用スポンジ | SRD-701AS |

| 部品名 | 部品コード |
|------|-----------|
| キャップ | SRD-701TC |

故障かなと思ったら

修理を依頼する前に、ご確認ください。

| こんなとき | ご確認くださいこと | 直しかた |
|----------------------------------|--|--|
| 電源が入らない。 | 電源プラグが抜けていませんか。 | 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 |
| | ミスト量調節つまみの位置がOFFになっていませんか。 | ミスト量調節つまみをON/MINの位置まで回してください。運転中は、ミスト量調節つまみの周りが青色に点灯します。 |
| 本体から水がもれる。 | 水タンクが本体に正しく取り付けられていますか。 | 水タンクを正しく取り付けてください。 |
| | キャップが水タンクに正しく取り付けられていますか。 | キャップを水タンクに正しく取り付けてください。 |
| | 室内が低温、または湿度が高い状態ではありませんか。 | 低温、多湿の場所では、本体が結露する場合があります。タオルなどで水滴を拭き取ってください。 |
| 床や壁が水で濡れる。 | お部屋が充分に加湿されていませんか。 | 湿度が70%以上のときに、さらに加湿しようとすると、床や壁、家具などが湿ってることがあります。湿度計を併用し、お部屋の湿度が高い場合は運転を停止するか、加湿量を弱めに設定してください。 |
| | 外気温が低いところで使用していませんか。 | ミストが気化せずに落下してしまうことが原因です。お部屋の中を暖かい状態に保ち、ダイニングテーブルなどの高さで設置するとミストが気化しやすくなります。 |
| 部屋の湿度が上がらない。 | 換気をしていませんか。 | 部屋の広さや材質、換気状況によって加湿状況は変化します。設置環境を確認してください。 |
| ミストが吹き出し口から出ない。または、使用中にミストが止まった。 | 水が水位感知センサーの高さまで入っていますか。(ミスト量調節つまみの周りが赤色に点灯していませんか) | 水位が水位感知センサーの高さより低くなると、自動的に運転が停止するしくみになっています。水を補充してください。 |
| ミストの量が少ない。 | ミスト量調節つまみがON/MINの位置になっていませんか。 | ミスト量調節つまみを時計回りに回して、ミストの量を調節してください。 |
| | 運転をしはじめたばかりではありませんか。 | 水温や室温によっては、運転開始時はミストが少なくなることがあります。そのまま30分程運転するとミスト量が安定してきます。 |
| においがする。 | 本体や水タンクが汚れていたり、水が古くなったりしていませんか。 | 水タンク、および本体のお手入れをしてください。 |

| こんなとき | 理由 |
|-----------------|--|
| 動作中にピチャピチャ音がする。 | 超音波振動板から吹き上げられた水が水タンクに当たり、その水滴が本体内部にたまっている水に落ちたときの音です。 |



※ 定期的に「安全上のご注意」や「知っておいていただきたいこと」、「使いかた」を確認してお使いください。

誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

※電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- ・ シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- ・ 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

アフターサービス

保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ


補修料金は技術料(故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

- 修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

〈シロカサポートセンター〉 電話： ナビダイヤル  0570-001-469
※上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800
受付時間：10時～17時 (弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください)
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5階
メールでのお問い合わせ：ホームページアドレス <https://siroca.co.jp/> ※「お客様サポート」のページからお入りください。

- 消耗部品・別売品は、シロカサポートストアからもご注文いただけます。

〈シロカサポートストア〉 <https://siroca.jp/> ※商品により、お取り扱いがない部品がございます。サポートセンターまでお問い合わせください。

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- ・ サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



シロカ
サポートストア
siroca.jp